

第2回「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：文化センター 2階ホール

日時：令和4年10月19日（水）19時30分から21時00分

参加人数：18名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（学校教育課長）

事務局からお願いがございます。説明会の意図として、多くの方からご意見をいただきたいのでご発言をお願いします。小・中学校の検討案について、いろいろな面からご意見をお願いしたいと思います。質問からお受けしたいと思います。質問のある方よろしくをお願いします。

（発言者A）

資料2ページですが、下の方の学校施設整備計画ロードマップの3校の新校舎、統合中学校の建設予定地は検討中とあるのですが、1校にする計画を立てた段階ではどこかしらの土地の案があるかと思うのですが、場所によっては統合についても保護者の意見が様々あると思います。スクールバスで通うにしても、距離とか土地性のこともありますし、検討中とはあると思いますが、具体的に案があるのであれば公に示していただけると保護者の考えがいろいろあると思いますので、公表していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

（学校教育課長）

計画では今年度中に予定地を決定する予定で、市役所内で検討委員会を立ち上げておりましたが、様々なご意見を聞いてどうなるかはわからない状況ですので、検討会を中止しております。また、これから決まったとしても用地の選定、土地の問題もありまして、地権者との関係もあり事前にお知らせするのは難しいと思っております。よろしいでしょうか。

（学校教育課長）

その他質問ございますか。それでは先ほどお示しした小・中学校のABC案を示させていただきましたが、小学校の統合案について、ご意見ある方よろしくをお願いします。資料の中にもありましたが、統合するなら1回でいいなどのご意見がありましたけれども、同じようなご意見でも構いませんので。

（発言者B）

陵西学区の保護者ですが、説明会を聞くのは2回目なのですが、3案に絞ってあるのがなぜなのかな。その次の案とかありますか。他にこういうパワーポイント

トのような。

(教育長)

これまでいただいたご意見をまとめるとこういった案になるのかなと、いろいろご意見いただきやすいように3つの案を示させていただきました。あいさつでも申し上げましたが、こういった案もあるということとかあれば、それも出していただければと思いますが。

(発言者B)

わかりました。ありがとうございます。

(教育長)

いかがでしょうか。地元のことについて、資料についてご意見が出ておりますので、ぜひご意見をいただけるとありがたいなと思います。

(発言者B)

続けてよろしいでしょうか。西部地区出身としては、子どもがおりますが、学校がなくなることは、すごくショックを受けております。いくらスクールバスとか電車で通うとか、いろんな方法あると思うのですが、学童の問題、身近な存在、小学校、中学校が西部地区になくなってしまおうというのは、西部地区が寒河江から切り離されてしまうのではないかという不安。街中だけ寒河江で、西部地区はなにもなくていいんだ、切り捨てられている感じがして、この前、発言できなかった。不安を覚えました。市の施策の中でコンパクトシティとかあるのかもしれませんが、将来どうなっていくかわからない中で、住んでいる人がいて、生活している人がいる西部地区を見捨てないでほしいと思います。

(教育長)

ありがとうございます。これまでもそういったご意見もいただいておりますので、1つの検討案として案Cになりますが高松、白岩、醍醐の統合校をそのまま残すという案等も、今回お示したところです。そういったところについてもご意見をいただければと思います。先ほども言いましたが、校舎が建設されてからして年数が経っています。例えば、高松小は、今年で43年目だということ。案Bで令和14年を目途とか、2回の統合を避けるために中学校の統合後となると、10年後ですので、建てられてから50数年という状況にもなるわけですね。醍醐小学校は19年目、新しい方ですので、その校舎を利用しての西部地区の学校の存続も検討案としてあるのかなと思ったところです。

(学校教育課長)

よろしいでしょうか。

(発言者C)

2つ質問がありまして、資料4番のロードマップで小学校の区切りですが、

寒河江小、南部小と2つになっていますが、今後、寒河江のところでまちづくりとして、人口が増えていきそうなどころがあると思います。陵南中付近、西根小付近、寒河江小、南部小学区の付近も家が増えていくんじゃないかなと予想しているのですが、今現在の寒河江市の子どもの数もちろんそうなのですが、今後、人がどう流れていくか、どの辺に住宅街ができるか、そうしたことも考えて小学校統合の組み合わせを考えていかなければならないと思います。5校統合で、西根小に関して、人口が増える見込みがあるのではいかと個人的には思っております。保育園のことを考えても、いろんな認定保育園ありますが、できる限り保育園で一緒だった子は、小学校で一緒になりたいなという思いもあるので、例えば、今の小学校区に縛られないで、今後10年、20年後のことを考えて、学区をずらして、うまく均等な人数を作ること考えることは可能でしょうか。学区ありきではなくて、今から新しい住宅が建ちそうなところを調整したりすることによってうまくいくのではないかと思います。

2つ目は、いろんな説明会で保護者の方の意見、地域の方の意見を聞かれたと思うのですが、小学校・中学校の先生の声は、どういう声があがっているのか気になると思いますので、あれば先生方の現場の声を聞かせていただきたいと思います。

(教育長)

ありがとうございます。1点目の中にもいくつかあったと思いますが、小学校の統合に関して、西部学区の件、西根・三泉の件について話をしたところですが、ここにありますように、他の小学校に関しましても、今後の状況を見ながら検討していくということで、例えば、寒河江小と南部小を新校舎を建設し統合することを検討とあげてありますが、5年ごとに見直すということですので、組み合わせ等も見直すということもありうることだと思います。また、学区を編成替えしてというご意見もありました。そういったことも考えられると思います。ただ、今回のあり方検討委員会では、これまでも何度か寒河江市内の学区編成替えがあったわけですが、なかなか住民の方の理解をえられない場合も多かったことなどもあって、今回の統合については学区編成替えを行わずという答申でありましたので、それに基づいて計画を立てました。地域の方のご意見として、学区も変えて、学区の編成替えも含んで小学校の統合について考えていくべきだという意見が多く出てくれば、今後の見直しの中で、それも検討されてくるものだと思います。

あと、現場の先生の声ですが、例えば、私は中学校におりましたので、中学校の教員の声とすると、さきほどの説明にもありましたように、中学校の生徒数が減っていきます。先ほどの数字は、今生まれている寒河江市に住んでいる子どもさんの数です。今年度生まれた子どもが令和17年度に中学校1年生になります。資料の下にもありますが、今年4月から9月までで寒河江市で出生届を提出された方の人数は、129名です。昨年度の同期と比べると54名減っています。そういった人口の減少が見られます。今年度の人数までは、先生方が考えたわけではないですが、減っていく傾向は見込まれました。そうした状況から、中学校は1校の方がいいんじゃないかという方もいらっしゃるし、大規模よりも

少し小さい4、5クラスがいいという先生もいます。小学校については、クラス替えができるくらい的人数が望ましいと思っている先生も多いと思います。クラス替えができると、新たな気持ちで新学期をスタートするということがありますし、人間ですので、友達と合う合わないということもあります。クラス替えがないと、人間関係でつらいなど訴える子どもたちもいるわけです。そうしたことも考えると複数学級あった方がいいのではないかと思います。また、複数学級で同じ学年に2、3人の先生がいると、授業の進め方なども相談できますし、教え合ったり、子どもたちのいい面をより見つけやすくなるということはあると思います。

(学校教育課長)

よろしいでしょうか。

(発言者D)

はじめに参加しました。いろいろ話を聞いて、いろいろ案を出してくれているのはわかりましたが、2つほど気になったことがありました。中学校を2校にした場合、陵東、陵西が合わさるとなったときに、違和感があったのですが、寒河江小が南部と一緒になったときに、陵東中と陵西中があわさると、寒河江小と南部小と一緒になった時に、小学校の編成と中学校の編成にずれがおきてくるのではないかと。これからどうなるかわからないのですが、そう考えた場合ときに、そうしたことも起こりうるのかなと思いました。

もう1つは、学校運営協議会で地域の中で子どもたちを育てましょうということで、各学校でがんばっているわけですが、その場合に、大きな中学校1つになった場合、地域の力をどこまで発揮できるのかなとお聞きしながら思ったところなので、どれがいいか言えないですが、そういう感想をもったとお伝えしたいです。

(教育長)

ありがとうございます。先ほどのロードマップでは寒河江小と南部小の統合を検討するとしています。統合することを検討している計画です。今後の児童数の動態によっては、南部・中部・柴橋の統合とか、寒河江小と三泉・西根との統合も可能性としてはあるのかもしれません。そういったことも含めて検討していかなければならないということだと思います。

地域の活動につきましては、大きくなっても、みんな同じことをしなければならないということではないわけで、例えばそれぞれの地域で、田植え踊りとか伝統芸能が残っているということであれば、地域の方の指導のもと、それを校内で披露するなど考えられますし、全部一律で地域活動をやらなければならないということはありませんので、地域コーディネーターとも相談しながら、それぞれの地域の活動を生かしていくことは、コミュニティスクールの中で可能なことかなと考えています。

(学校教育課長)

よろしいですか。

(発言者A)

さきほどの中学校を1校にするときの土地について、もう1つお聞きしたいのですが、計画では令和4年度中に用地選定を行う予定であったことが27ページに書いてあるのですが、今年度予定だった土地の計画があったと思うんです。それがまた振り出しに戻ったという過程ですが、もし、中学校を1校なり2校で計画を決定する前にまず土地を明らかにしてほしいと強く要望します。統合することに賛成したとしても、通わせるまでの土地にいろんな土地に意見があると思うので、土地を明確にしてから1校、2校、の順番で話を進めていただければと、一保護者としての強い要望があります。中学校を統合するメリットの中に部活動を選択しやすいとありますが、令和5年度から部活動も地域の方に、土日という期間限定ではあると思いますが、徐々に学校で習うのではなく地域に移行するということと矛盾があるのではないかなと、そのあたりも子どもたちのこと優先に、いろいろ考えていただきたいと思います

(学校教育課長)

ありがとうございます。用地の関係ですが、本当にどこの場所と決まっていない状況であります。今年度中に決定は難しい状況ですが、ご要望としてお伺いしたいと思います。

(発言者A)

何度もすみません。用地が決定していないということであれば、計画がずれていくということですよ。あくまでも今年中に用地が決定しないのであれば、統合の年度もずれるということですのでよろしいですか。

(学校教育課長)

決定がならないのであれば、ずれる可能性もあります。

(教育長)

部活動についてですが、これからの部活動のあり方は、大きく変わってくると思います。土日の活動が学校から離れるというのは、寒河江市だけでなく全国でこれを進めていくということで、令和5年から7年の間に準備をすすめて、令和8年度からそういう形になる見込みです。その時に、子どもたちの活動のあり方として、例えば、平日は中学校でバスケットボールをやりますが、土日はスポーツ少年団、クラブの活動になると思うのですが、そこまでしなくてもいいと、土日は活動しない子どもさんもいると思います。また、平日は好きなことをやりたいので部活動に入らない。でもバスケットボールが好きなので、土曜日のクラブやスポーツ少年団には参加したいという子どもさんもいるかもしれません。また、平日はバスケットボールをやって、でも野球もやりたいので、土曜日とかは野球のクラブに入りたいという子どもさんもでてくるかもしれません。そうし

た、いろいろな形の参加の仕方によって変わってくると思います。そうした状況で、平日の部活動はと考えると時に、人数が多くなればいろいろな部を設置できるわけです。そこでいろいろな部を選択できます。少なくとも平日は、自分の好きな部活動を頑張れるということです。部活動は小さい学校ですと、例えば先ほど資料も見ていただきましたが、現在の陵西中学校は部活の数も限られており、テニス部とかはありません。剣道、柔道をやりたい子がいても現実的にはできていません。それが、規模が大きくなれば、いろいろな部を設置できます。少なくとも平日はそういった種目を選択できる状況になると思います。

(学校教育課長)

よろしいでしょうか。中学校についても意見も出ておりますので、どうぞ。

(発言者E)

いろいろな案を聞かせていただいて、案が出るたびになるほどと聞かせていただいております。私は、陵西学区ですが、小さい学校でも利点はあったと思います。少人数だからこういう教育が受けられたというのはすごく感じております。子どもが生まれたときは、できるだけ大人数のところではいろいろな経験してほしいと思っておりました。なので地元ではない幼児施設に通わせたことがありました。地元にも保育所がありました。そこだと人数が少ないかなと思い、親としては大きいところで経験してほしいと思ったので、そのようにしましたが、小学校6年間1クラス、中学校で2クラス、でも心配していたような少人数で教育を受けて平気かなという心配は、今思うとなかったなと思います。むしろ、どの先生にも子どもことを覚えてもらって、地域の方にもみんなにも目をかけていただき、親が日中いないところでも地域の力を借りて成長させていただいたと、よかったのかもしれないと感じています。今後、寒河江市の学校がこうなるよと計画を耳にしたときに、どちらに動いてもメリットやデメリットがあるのは承知しております。今の話を聞かせていただいても、ただ、1か所に子どもを集める、そういうことではないと思いますが、そういう考えではないよ、中心は子どもですよ、子どものことを考えて計画を進めていただきたいと思っております。小さい学校だから学びができないとも思いませんし、マンモスにすれば100%いいわけでもないとわかるんですけど、例えば、幸生小もどんどん人数が減っても学校はぎりぎりまでやってくださった。地元の親としてはありがたいような気はぬぐいさることはできないというのが、正直な気持ちです。新しい学校、新しい土地にという計画で、先ほどの方が心配なさっていたように、どこになるのかは、すごく大きなことだと思います。まあ、寒河江市の中心部にはならないかなと想像したとき、土地を求められる可能性としてこの辺かなというのは、みなさんそれぞれの頭で漠然と浮かんでくるんじゃないかなと思ったときに、例えば陵西学区に土地ありますよとなった場合、寒河江小学区の方がOKするのでしょうかと正直思っていました。私は陵西学区にいますので全然そういう思いはないのですが、逆の立場であったら、町場に子どもが行くのにそんなに抵抗がなさそうな気がします。逆のパターンだと、行きにくいというか、すぐに返事でOKは出しづらい方はいらっしやるんじゃないかなと想像したとき

に、その辺の市からの説明は不可欠ではないかなと思います。なので、さきほどの方の心配はそういうこともあるかなと思います。陵西学区に土地があるので宅地としてやってくれたらいいんじゃないと、人口増えるのかなと思います

(教育長)

ありがとうございます。おっしゃられることは私もわかります。私は、中学校に勤めておりましたが、小規模な学校では山寺小中学校や全校生徒が60名くらいの学校にもいました。大きい規模では河北中勤務の時には、960名の生徒がいました。私自身も小さい学校から大きい学校まで勤めておりましたが、それぞれいい点や課題もあります。もっと人数が多ければなと思うときもありますし、多くてなかなか子どもの名前を覚えるのは大変だなと思うときもありますし、そうしたことでするので、どちらかが絶対いいということはないんですね。大事なことは、よりいい点を伸ばしていくということだと思います。そうしたことも十分考えながらやっていきたいと思います。場所の件も、いろんなことが課題になってくると思います。例えば、1校案としたときにスクールバスで通う生徒もでてくると思います。その時の通学に関しては、道路事情も考えなくてはなりません。先ほどもありましたように、夏は自転車で通学できるが、冬は歩くとなると遠い、だからスクールバスに乗るなんてこともあるかもしれません。いろんな対応を考えていく必要があると思います。スクールバスの台数とかも、台数が多くなるといろいろな課題もでてきます。前回の説明会でもある方がおっしゃっていましたが、ずっとスクールバスだと運動不足になりがちだということもありました。そうした場合は、少し離れたところでバスを降りるなどもあるかもしれません。いろんなことを考えながら土地、場所も考えていかなければならないと思います。

(発言者F)

議員もしているのですが、これまでの説明会に全部出席して、それぞれの会場で市民のみなさんのご意見を聞いてきましたけども、今日の教育長の答弁のなかで何点かおかしいと強く思ったところを申しあげます。まず、ロードマップ4ページにもでていますが、これは中学校1校案、小学校は将来的に2校ないし3校案のゆくすえのロードマップでありまして、答申作る際に第1案、第2案、第3案の3つが検討委員会で議論された第3案だけをここに載せているんであって、中学校の2校案、小学校6校案という第2案が復活したのであれば、ロードマップをここに付けるべきだと思います。つまりロードマップAがいいのかBがいいのか聞いていただいて、しっかりとうけとめていただきたいのが1点目です。

第2点目は、先ほど市民の方からもありましたが、先生方、そこで働いている教職員の意見は大事だと思います。ごもっともだと思います。毎日子どもたちと接している先生方の声は、私は学校再編を考える市民の会という団体の世話人をしてますが、その中に教職員組合の方も入っております。いろいろ市長や教育長に要望書をまとめたのですが、その要望書の中に先生方の意見も反映されております。先生方は、あり方検討委員会の答申を出すときに校長先生3名が入っていました。その方がそれぞれどんな発言したのか議事録を見ると一目瞭然

ですが、残念ながら議員に示された議事録とは公表されている資料は違います。つまり、氏名が記されていない。委員の方、誰が発言した意見なのかはまったく市民にはわからない。せっかくの答申を作って、計画の案になった土台が崩れてしまう、市民のみなさんにはわからなくなってしまうと思います。校長先生方の案というのは、2案が賛成、2案というのは中学校2校、小学校6校が基本だろうと、複式学級の解消を主眼に現体制をできるだけ継承する案。あまり統合をしないで、できるだけ小中学校を残してくれ今の位置にというお考えだったと思います。いろんな考えがあるとおっしゃったのですが、100人いれば100人の先生方が考えるでしょうけれども、あり方検討委員会に選ばれた校長先生、市民の会の先生方の意見といのは中学校2校、小学校6校案ではないかなと思いますので、ロードマップ、これとは別なものをしっかり示していただいて今後の説明会、あるいはホームページでわかるようにしていただければと思いますので、これを要望にさせていただきます。

(教育長)

ロードマップについては、今年3月に議決した案で、ここからいろんなご意見いただきましたので、検討する案として、そうしたご意見をもとに示させていただきました。先ほどもご意見ありましたが、その他にも学区編成替えをしたらいいのではないかとのご意見もできました。そうした意見も出していただき、それについても意見をいただきたいと思います。ABCから選んでくださいというわけではありませんので、いろいろな面からご意見をいただきたいということです。1校案、2校案については、議員もおっしゃいましたように、いろいろな考えがあります。最初は1校がいいと思ったけども2校かなと変わる場合もありますし、2校案から1校案に変わる場合もあると思います。今検討されているのも、1校だったらこうだね、2校だったらこうだねといろいろ変わっていると思います。議論を深めるためにも、いろいろな意見を出していただいて、そうした意見を聞いて、あらためて気づいた意見も出していただきたいという意味合いで、意見を出しやすいようにこういった案を示させていただいたところです。

(発言者F)

これで終わりにしますけれども、この案を新しく出したのであれば、ロードマップも新しく出してほしいということをお願いしているのであって、何も違うものをだせ、今表示されている検討案だけで考えなさいということではないとは言うものの、その方がわかりやすいでしょうと申し上げたところです。

(発言者G)

保護者として感想程度になりますが、話させていただきます。西部地区公民館でも意見はあったので、保護者の方、他の方から教職員の方たち、今現在子どもたちを見てくれている先生がどういうお考えなのか。それを考えた時にすごく残念だったのは、パブリックコメントを求めたのは3月17日まで、そこから1週間で議決になっていますよね。パブリックコメントを求めますというあたりで、市民の多くは、このことを知った方が多かったと思うんです。そして、4月

の入学式、または始業式、その日の夜に、子どもから今の4年生が最後の卒業生なんだってと言われました。おいちょっと待てよと、保護者が意見も言っていない、詳しい説明を聞いていないのに、何でそんなことを子どもたちから聞かなければならないのかというのが一番のショックでした。それを校長先生が子どもたちに言ったということで、学校どうなっているの、子どもたちから攻めていくのかというか、子どもたちを巻き込んでこの話を進めていくのかな。保護者の意見は届かないのかなというところから、保護者は、ざわざわしはじめて、説明がほしいということになったんじゃないかと思います。一番は説明不足ということがあがっていますが、子どもたちはその気でいますからね。言われているので、信頼を置いている先生に、そして校長先生まで4月の段階で言っているのです。そこを重大に考えてもらいたくないなと。子どもたちに違ったよと簡単に言うんですか。そこを教育委員会も、それを支えている教職員の方たちに、子どもたちにどう伝えていくのか考えていかないと、保護者がないがしろにされていると強く感じておりますので、そこらへんを考えてもらわないと、保護者が意見言えないと思います。以上です。

(教育長)

今おっしゃられたことは十分承知しました。子どもたちから攻めて、保護者が意見を言えないようにというそういった意図はなかったと思います。今話し合いがおこなわれていることも含めて子どもたちに説明していくのは大切なことだと思います。

(学校教育課長)

よろしいでしょうか。

(発言者H)

どんな内容かと思って参加させていただいたのですが、町会長もやっています。地域の実情と将来を見据えた計画といいながら、地域実情を一番知っている町会長には5月の联合会でお聞きしましたが、これは決定ですよとはっきりおっしゃいました。そういうことで、決定だけが一人歩きして、何も意見を言えなくて、保護者もあきらめムードが非常に大きいわけです。これについては、説明されている教育長なりの本当のミスだと思います。町会長にも説明もなく決定はありえないと思います。今行っている人数だとか、建物が古いとか、比べると財政的にもどうだとか、学校を建てるとか、そういうことで子どもたちの将来を考えないでこの計画を進めてきたのではないなと。市民の方と色々な意見を出し合って、検討して、いついつまでに再編について考えるロードマップを出してほしいと思います。さきほどの方もあったように、第2回目も同じロードマップを使う、今回説明するのは第1回目と変わったということは、何か少しでてきたみたいですが、基本的には説明なさっているみなさんの決定ですよと、意思が強いように思われますので、もう少し市民の方にわかりやすく、これから決めていくというアナウンスをしてほしいと思います。

(教育長)

ご意見受け賜われました。

(学校教育課長)

どなたか保護者の方からご意見いかがですか。

(発言者1)

子どもが、ロードマップの計画からすると、統合に重なったりするのか、それくらいの年代ですが、1回目の説明会にも参加させていただいたのですが、そのとき疑問に思ったことを質問させていただいたのですが、説明会で言ったのは、中学校を1校にした場合、今年度中に用地選定というので、これが決まらなかったら、陵東中学校跡地に小学校をもって来る計画がずれてくるんじゃないですかといったのですが、そういうことも検討している中でのずれこみなのかなと思うので、良いことなのか悪いことなのか、説明会聞いて、今のところはっきりわかっていないのですが、1回目の説明会もそうだったのですが、説明会に参加している方から賛成意見が出てこないのはなぜなのかなと思っているのですが、進め方に不明な点が多いとか、それだけ難しい議論なのかわからないのですが、漠然とっております。急に振られたもので意見がまとまっていないのですが、疑問に思ったのは、2校案にした場合、28ページですか、2校案の場合は、陵南中の改築と、陵東中、陵西中の統合中の改築とあるのですが、どういう改築なのか、立て直すのか耐震的なことをするのか、グラウンドの場所に新しく建てて、寒河江工業のように新しく建てて、もともとの校舎をつぶしてグラウンドにするのか、それは検討中だと思うのですが疑問に思ったところです。1校にするのと、2校に改築するのは、予算はどれくらいの費用ですかというのが疑問に思ったところです。

(教育長)

ありがとうございます。急な質問で申しわけありません。改築というのは、寒河江工業のような、校舎そのものを新しくしていくイメージです。耐震化とかでなくて。陵東も50年すぎましたし、とくに水道管とかの水回りもろくなっています。校舎を新しくするということを考えております。最初にも申し上げた通り周知が足りないのは、そのとおりで大変申し訳ないと思っております。そこでこうした説明会をしており、今後もいろんな機会を設けていきたいと思っております。

(学校教育課長)

ありがとうございました。その他ございますか。時間になりましたので、質疑はこちらで終了いたします。